



「もったいない AWARD」受賞者の取り組み

会長賞（団体の部）

宇都宮市立一条中学校

「清掃ボランティア」

- 毎年11月第1土日に、宇都宮城址公園にて開催されている「宇都宮餃子祭り」に、平成13年から2日間の会期中、延べ100人の生徒が会場内の清掃ボランティアを行っている。
- 本年5月に開催された「全国餃子祭り」の際も積極的に清掃ボランティア活動に参加し、宇都宮市が全国に誇る「もったいない運動」を中学生が行っていることを全国の来場者に発信することができた。
- 中学生が熱心にごみの分別・収集活動をすることにより、ごみの分別の徹底やポイ捨てが減少につながる効果が考えられる。



特別賞（団体の部）

一般社団法人うつつのみやシティガイド協会

「ボランティア活動」

- 平成19年うつつのみやシティガイド協会を設立し、本年4月に一般社団法人に改組し、56名の会員が活動している。
- 本市を訪れる団体や個人の観光客に宮カフェ、JR宇都宮駅を拠点に、毎週日曜日ははじめ「街なか散策」や「大谷資料館」など観光案内を実施している。
- 宇都宮市や観光コンベンション協会主催の事業にスタッフとして積極的に参加し、長年にわたり各種事業を支援している。
- 地元を心から愛するボランティアが宇都宮を代表する顔として、わが郷土宇都宮の素晴らしさを伝え、「おもてなし」を提供することにより、宇都宮のまちづくりに貢献している。



特別賞（団体の部）

明保小学校地域協議会

「フラワーロードの整備活動」

- 明保小学校の通学路にアジサイが植えられ、「フラワーロード」の愛称で、児童や保護者、地域住民の間で親しまれている。
- 平成21年より、地域からボランティアを募り、アジサイの剪定を行い、子どもたちと一緒に通学路の環境整備に取り組んでいる。今年度は、地域ボランティア63名が明保小学校児童と共に、7月21日に剪定を実施した。
- この活動は、普段接する機会のない子どもと地域住民との交流の場となり、学校と地域のつながりを深めていくことで、地域住民が学校づくりに参加するキッカケづくりとなっており、明保地区、城山地区全体の地域まちづくり活性化に寄与している。



特別賞（団体の部）

姿川歴史と文化の会

「歴史と文化の継承」

- 地元の歴史や文化を掘り起こし、広く共有・保存・継承・活用していくことを目的に、平成23年に結成された。
- 主な活動は、歴史展と講演会の開催やガイドブックの作成など。
- 昨年度から、地区内の小学校の体育館の建て替えに伴い、譲り受けた床材を看板の板を再利用し、史跡「愛宕塚古墳」に第1号の看板を設置した。
- これからも順次、地域の史跡に、この床材の「看板」を設置し、地域の皆さんに親しんでもらうことはもちろん、限りある資源を大切にすの心や、郷土を愛する気持ちなども、育んでいく活動が続けていくこととしている。



会長賞（個人の部）

高橋 叔子さん

『エコ活動』

- 宇都宮市消費者友の会の会員として約20年間活動していて、会員の中でもこれほど「もったいないの精神」をもって生活している人はいない。
- 会主催の行事においても、通常は使い捨ての食器などごみとしてまとめてしまうところを、彼女はプラスチック、紙などときちんと分別し、ごみを少なくするようにしている。また、食事作りの際にも、食材を無駄にしたりしないようにしている。他にも、行事で残ったもの（布、ボタンなど）を、持ち帰り、分類したりして、さらに再利用できるようにしたりしている。
- 彼女の取組は見事であり、実践する姿は立派である。



特別賞（個人の部）

岡地 順三さん

『地域の美化・安全活動』

- 平成23年2月から、まほろばわんわんパトロール隊として、豊郷南部を中心に、毎朝徒歩で、隊長の愛犬ゴールデンレトリバー「らん」と共に、安全パトロールを実施している。
- また、自家用車を改造した青色回転パトロール車により、登下校時間を中心に1日に数回、「らん」を乗せて、豊郷地区と周辺地区をパトロールしている。
- いつも隊員と一緒にパトロールしている隊長（犬）のかわいさと健気さは地区内でも評判となっており、子どもたちからも尊敬を集め、地域を愛する心の醸成につながっている。
- パトロールでは、防犯・交通安全にとどまらず、家庭ごみの出し方の指導や、資源物持ち去り防止活動なども行っており、地域の美化「もったいない」にもつながっている。

